



2009-2010年度RIテーマ

国際ロータリー第2790地区

千葉南ロータリークラブ週報

THE ROTARY CLUB OF CHIBA SOUTH

創立	1964年3月2日	例会日	毎金曜日12時30分	例会場	オークラ千葉ホテル
会長	寺澤 一良	幹事	五十嵐 博章	雑誌会報委員長	佐久間 信一
事務局	〒260-0027 千葉市中央区新田町12-1トーシン千葉ビル7階			TEL	043-245-3204

2009年11月第3週号

第2244回



平成21年11月20日(金) 点鐘12:30(晴れ)

- *ロータリーソング 『手に手つないで』
- *四つのテスト ~言行はこれに照らしてから~
 1. 真実か どうか
 2. みんなに公平か
 3. 好意と友情を深めるか
 4. みんなのためになるか どうか

*お客様紹介
 社会福祉法人「楨の実会」ひかり学園
 支援課長 武藤 直樹様

《会長挨拶及び報告》 寺澤 一良会長

本日付で、会員宛に12月4日の年次総会のご案内が、FAXで届いていると思います。次年度の理事役員は、皆様のご協力により、地区指導のCLP委員会の細則に基づく、最初の理事役員の選挙でございますので、是非欠席されないようお願い致します。

一昨日、出井クラブ奉仕委員長が主催で入会暦2~3年の方々に対するクラブ情報委員会を「炉辺会」という名目で開催致しました。この炉辺会は昔からございましたが、時代によって内容が変わって来ていました。

最初は新入会員の為でしたが最近では親睦会になってきて、それも続かなくて今回は初心に返ったわけではないですが、ロータリー情報委員会の趣旨に沿った炉辺会となる予定でした。

主催者の出井クラブ奉仕委員長、ご不幸があったために、啓蒙活動を控えた関係で、集まった人も土屋パスト会長、ボランティア活動の先駆者の北原パスト会長等、ベテラン会員が多かったような次第でございました。

議題は、金親情報委員長と土屋副委員長がロータリーの原点である「決議23-34」に付いて説明頂き、勉強させて頂きました。

今後は、今年度の後半に入りますと、体制の上ではCLP体制にスライドしていきますが、ロータリー情報委員会の趣旨に沿って、この炉辺会を継続し、入会2~3年の会員にロータリーを啓蒙して行こうという事を決議して

終了しました。

☆大木ガバナー補佐からのGSE滞在中のお礼の文書が届いております。GSEの来訪中の見学DVDが届いています。

《仮委嘱条伝達》

2010-2011年度がバナー補佐 水野 謙一会員
 (織田 吉郎ガバナーエレクトより)

《マルチプル ポール・ハリスフェロー記念品伝達》

松尾 大邑会員 (ロータリー財団より)

《委員会報告》

<ロータリー財団地域セミナー出席報告>

地区R財団委員 吉田裕成会員より
 寺澤会長の後を受けて地区のR財団委員となりました。新人ということで1年に1回地域セミナーがあるのですが、今回は、ホテルグランパシフィックで行われ、10時から17時までみっちり教育を受けてまいりました。今月は、ロータリー財団月間ということで、「ロータリーカードを利用して、世界でよいことをしましょう」ということがロータリーの友にも掲載されております。是非ご協力いただければと思います。

<ロータリー財団に貢献するロータリーカード>

(ロータリーの友11月号17ページ)

国際ロータリーでは、よりよき世界のためにクレジットカード・プログラムを実施しています。このカードを使って買い物をすると、その金額の0.3%が会員の負担なしでロータリー財団に寄付されます。さらに、ゴールドカードの場合は、年会費のうちの3,000円が財団に寄付されます。

2000年にアメリカで初めて導入されたロータリーカードは、そのほかの国でも導入されるようになり、現在はポリオ撲滅活動に役立てられています。

日本で発行されているロータリーカードには、年会費10,500円の「Gold MasterCard」と年会費無料の「Standard MasterCard」の2種類があり、カードの発行数も現在、約5,800枚になりました。買物はもちろん、年会費無料のETCカードや、公共料金の支払いなど、ロータリーカードは、さまざまなシーンで利用できます。(中略)

《ご挨拶》

ひかり学園 支援課長 武藤 直樹様より

日頃は、ご支援、ご協力を頂きまして誠にありがとうございます。今年も皆様には、お米・野菜パック・自然

薯をお買い上げ頂き、誠に有難うございました。また、23日に開催の多古町で行われる産業まつりのバザー用品もご提供いただき有難うございました。今後ともご支援のほど宜しくお願い申し上げます。

《ニコニコボックス報告》

☆寺澤 一良会員・五十嵐 博章会員

ひかり学園・武藤様、ようこそいらっしゃいました。ごゆっくりお過ごし下さい。中沢会員、本日の卓話を宜しくお願い致します。

☆大野 良亮会員

11月5日にヘルニアの手術を致しました。切開しましたら、大腸の癒着と古傷の癒着が見つかり、2時間に亘り痛い思いをしました。ホッチキス6ケで終わりました。会長・幹事のお見舞いを頂き、有難うございました。

☆出井 清会員

先日の「炉辺会」へ出席の皆さん、有難うございました。土屋さん、北原さん、金親さん、ご苦労様でした。

☆中沢 治久会員

初めての卓話で緊張しております。拙い話ですが、ご清聴よろしく宜しくお願い致します。

☆植松 省自会員

12月11日の「忘年家族例会」へのご出席、何卒よろしく宜しくお願い申し上げます。

本日のニコニコボックス	11,000 円	累計	358,314 円
金の箱	700 円	累計	11,568 円

《出席報告 (会員数44名)》

今関		川口		鮫島	欠	野本	
五十嵐		北原		塩谷		花澤	
伊藤	欠	国友		末吉		橋口	欠
植松		小塚	欠	鈴木・美	欠	畠山	欠
太田		小林		瀬谷		原田	欠
大野		向後	欠	竹尾		本田	欠
小野	欠	澤本		高橋	欠	松尾	
川合		榊原		土屋		丸島	欠
金親	欠	斎藤・昌	欠	寺澤		水野	
金田		佐久間		出井		野城	
栢木		澤野	欠	中沢		吉田裕	
出席 29名 欠席 15名 ビジター 1名 修正出席率 80.95%							

千葉市内例会変更のご案内 [メンバーにご利用下さい](#)

千葉RC	月	12/14・28	三井ガーデンホテル千葉
千葉西RC	火	12/22・29	センシティタワー「東天紅」
千葉幕張RC	火	12/15・29	アパホテル&リゾート東京ベイ
新千葉RC	水	12/2・16・30	京成ホテルミラマーレ
千葉北RC	水	12/16・30	ホテルポートプラザちば
千葉中央RC	木	12/17・31	三井ガーデンホテル千葉
千葉港RC	木	12/10・31	京成ホテルミラマーレ

《幹事報告》

五十嵐博章幹事

千葉緑ロータリークラブ・忘年家族例会開催のご案内

日時:平成21年12月12日(土) 点 鐘:午後6時
会場:オークラ千葉ホテル 登録料:12,000円
皆様のご出席、宜しくお願い致します。

本日の卓話

演 題…『低炭素社会実現に向けた取り組み』

卓話者… 中沢 治久会員



地球温暖化問題の深刻化に伴い、「低炭素社会」すなわちCO2 排出が少ない社会の実現は、大きな課題となっております。

鳩山内閣は1990年度比25%減という中期目標を掲げ、先週11日には環境省から地球温暖化対策税(環境税)の具体案も発表されました。ポスト京都議定書をめぐる国際交渉とあわせ、公平な負担かつ実現可能性の高い政策策定のためには、実態を踏まえながら検討を進めていく必要があると考えます。

東京電力は、電気事業者として、非化石エネルギーの活用や火力発電の熱効率向上など、CO2 の少ない電気をつくる取り組みを進めるとともに、高効率機器・電化システムの普及拡大やライフスタイルの省エネ化など、高いエネルギー効率で電気をつかう取り組みも積極的に進めています。

本日は「低炭素社会実現に向けた取り組み」と題して、「電気をつくる・つかう」両面の取り組みについてお話しさせていただきます。

はじめに、世界の中での日本の状況を確認します。世界のCO2 発生量の状況(2006年度)ですが、この時点で日本はインドに抜かれて世界第5位となっています。1位はアメリカですが、急速に経済成長している中国が現在ではアメリカを抜いて世界最大の排出国となった見込みです。それにロシア、インドが続き、上位4カ国で世界の過半数を占めています。

先日JEFスチール(株)の山村様のお話にもございましたが、京都議定書で削減義務を負っている国の排出割合は約3割、残りの7割は削減義務を負っていない国々からの排出であり、この差は今後さらに開いていく見込みです。

国内の状況に目を向けてみます。

CO2 排出量を部門別に見ると、工場などの「産業部門」の割合が約4割、オフィスビル等の「業務部門」、自動車・船舶等の「運輸部門」が各々2割となります。ただし、「運輸部門」には家庭の自家用車が含まれていますので、管理主体別に整理すると、家計関連からの排出量が国内全体の2割以上を占めています。

部門別CO2 排出量増減の推移を、1990年度を基準として示すと、「産業部門」は一貫して減少しています。

昨年来の景気低迷で企業の生産活動が冷え込んでいることから、今後産業部門はさらに減少となることが確実です。一方で「家庭部門」や「業務部門」からの排出量は4割以上の増加となっており、今後日本の排出量を大幅削減するためにはこの二つの分野で思い切った取り組みを進める必要があります。

冒頭、『「電気をつくる・つかう」両面の取り組みについて』と申し上げましたが、まずCO₂の少ない「電気をつくる」取り組みについてご紹介します。

日本のCO₂排出量は約13億トンですが、東京電力の排出量はその約1割(2008年度実績:1億2070万吨)を占めており、地球温暖化への対応は弊社最重要経営課題のひとつです。

弊社では、発電時にCO₂を排出しない原子力発電(安全・安定運転が前提ではありますが)や太陽光・風力等の再生可能エネルギーの利用を推進しています。供給電力の約半分を占める火力発電は、電力需要の変動に柔軟に対応することが可能であり、電気の安定供給上、重要な発電方式です。その火力発電においては、CO₂の排出量が比較的少ない液化天然ガス(LNG)の活用と、高効率な発電設備の導入を進めています。石炭火力と比較してLNG火力のCO₂排出量は約6割、発電効率の高いコンバインドサイクル発電では半分程度にまでCO₂排出を抑制できます。

弊社の火力発電所の発電熱効率は30年前の設備と最新のものを較べると約35%も向上してきています。

特に千葉県内においては、富津火力・千葉火力へ、その時点での最新鋭技術を真っ先に導入し、CO₂削減に取り組んでいます。

ちなみに千葉県全体で一年間に使われる電気380億kWhを、全量火力発電で賄ったと仮定し、従来型発電設備から私ども千葉火力発電所の設備に置き換えるとCO₂をどれだけ削減できるか試算してみました。答えは「340万トン」となります。この340万トンのCO₂を太陽光発電で削減しようとする、一般家庭用太陽光発電システム230万戸分に相当します。千葉県の世帯数が約250万ですから、県内ほとんど全ての世帯で導入が必要ということになります。

社会全体の低炭素化を進めていくには、供給されるエネルギー自体の低炭素化に加えて、エネルギーをご利用頂く段階でのCO₂削減対策も不可欠です。

家庭から排出されるCO₂を抑制・削減する方策の一つが、省エネ性能の高い家電製品への置き換えです。エコポイント制度等の施策はこれを後押しする事を目指したものです。

同じ容量・同じタイプで10年前の製品と年間消費電力がどの位違うかを比較してみますと、冷蔵庫で40%、エアコンでは30%の省エネとなっています。

省エネ性能を向上させた理由には、コンプレッサーやモーター等の制御技術向上や真空断熱材の導入の他に、冷蔵庫やエアコンの心臓部に使われているヒートポンプの性能向上が挙げられます。

省エネ機器を支えるヒートポンプは、空気中の熱を取り込み・移動させる仕組みであり、冷蔵庫やクーラー等に

以前から使用されていた技術です。近年その性能が急速に向上し、投入した電気エネルギーの約3倍から6倍の熱エネルギーをつくり出すことができるようになってエアコン暖房や給湯機器に利用が拡大しています。

ヒートポンプは、太陽光や風力と同様に無尽蔵な自然エネルギーである大気熱を利用する技術であり、本年4月に策定された未来開拓戦略(Jリカバリー・プラン)の中では、ヒートポンプにより利用された空気熱・地中熱・水の熱を再生可能エネルギーとして扱うことが明記されています。

環境性に優れた電気を活用する高効率機器の開発・普及は、社会全体の省エネ・CO₂抑制に有効な手段です。

家庭で消費されるエネルギーのうち、暖房・給湯が約6割を占めており、家庭分野におけるCO₂削減のカギとなっています。暖房にはエアコン、給湯にはエコキュートなど高効率なヒートポンプ機器を使うことにより、投入した電気エネルギーの何倍もの熱エネルギーを得ることができます。

世界で初めて実用化した家庭用自然冷媒ヒートポンプ給湯器が「エコキュート」です。

報道に拠れば、「エコキュート」の累計出荷台数が、10月末の時点で200万台を突破したとのこと。従来型給湯器と比較したCO₂抑制効果は、約140万tに上ります。

民生部門(業務・家庭部門)と産業部門の給湯や冷暖房などがすべて高効率なヒートポンプに転換したと仮定すると、日本全体で、約1.3億tのCO₂削減効果があると試算されています。これは、先ほど申し上げた日本のCO₂排出量の約10%に相当します。

さらに、ヒートポンプは今後より一層の効率向上が期待されることから、CO₂削減に必要な不可欠な技術となっています。

以上の通り、弊社は「電気をつくる・つかう」の両面の取り組みを進めていくことで、「低炭素社会」の実現に貢献していきます。



第2245回例会

日時⇒ 平成21年11月27日(金)点鐘 12:30
演題⇒ 『佐原の観光の現状ともう一つの佐原』
卓話者⇒ 水郷佐原観光協会
事務局長 増子 洋一郎様

第2246回例会

日時⇒ 平成21年12月4日(金)点鐘 12:30
演題⇒ 『少年達に教えられて・・・』
卓話者⇒ フリーハウジング(株)
代表取締役 新良貴 弘隆様

